

初めての症例報告！

消化器内視鏡医のためのケースレポートのトリセツ



東京大学医学部非常勤講師・とよしま内視鏡クリニック

畑 啓介

1996年東京大学医学部医学科卒業。東京大学大学院医学系研究科外科学専攻にて医学博士(外科学)を取得。米国サンタモニカのJohn Wayne Cancer Instituteに留学後、東京大学大腸・肛門外科、東京大学がんプロフェッショナル養成プラン元特任講師を経て現職。医学英文論文執筆・執筆指導多数。著書に『学会発表・医学英語論文執筆のトリセツ』（日本医事新報社）がある。

1 はじめに：症例報告が襲ってきた！	p02
2 学会で症例報告をするように指導医から言われたら	p02
3 抄録を作成しよう！	p04
4 抄録を提出したら	p06
5 採択メールが届いたら：スライドやポスターの準備	p10
6 スライドやポスターができたなら：予演が待っている	p16
7 学会発表当日	p18
8 症例の選択方法と消化器内視鏡関連学会の紹介	p19
9 英文論文文化：PubMed掲載をめざそう！	p21
10 おわりに	p24

ご利用にあたって

本コンテンツに記載されている事項に関しては、発行時点における最新の情報に基づき、正確を期するよう、著者・出版社は最善の努力を払っております。しかし、医学・医療は日進月歩であり、記載された内容が正確かつ完全であると保証するものではありません。したがって、実際、診断・治療等を行うにあたっては、読者ご自身で細心の注意を払われるようお願いいたします。

本コンテンツに記載されている事項が、その後の医学・医療の進歩により本コンテンツ発行後に変更された場合、その診断法・治療法・医薬品・検査法・疾患への適応等による不測の事故に対して、著者ならびに出版社は、その責を負いかねますのでご了承下さい。

アイコン説明

-  注意事項/課題・問題点
-  補足的事項/エッセンス
-  お役立ち/スキルアップ
-  [Link](#) 関連情報へのリンク

HTML版

スマホでも読みやすいブラウザ表示です。本コンテンツ購入後、無料会員登録することでご利用いただけます。

無料会員登録

無料会員登録の手順とシリアルナンバーによるHTML版の閲覧方法の解説です。

オリジナルコンテンツ

日本医事新報社のオリジナルWebコンテンツの一覧をご覧ください。

1 はじめに：症例報告が襲ってきた！

学会発表の手始めとして、指導医から指名されることも多い症例報告。「今度、〇〇学会の支部会があるから、この前のめずらしい症例を学会発表してみない？」と指導医から言われれば、「まずい、自分にもついに学会発表の依頼が回ってきてしまった」と、多くの医師が何から行えばよいのか途方に暮れる瞬間だと思います。

本稿では症例報告の実際について、初めて発表をする内視鏡医向けに説明していきます。

症例報告は、最終的には英文論文の形にまで持っていけるとすばらしいのですが、残念なことに学会発表される症例報告の数と比べると、英文論文になる症例報告の数は圧倒的に少ないのが現状です。しかし、読者にとって役に立つメッセージであれば、ケースレポートとして英文論文化が可能です。また、印象的な画像があれば画像系のクイズを中心とした Image of the Month のようなコーナーでの英文論文化も夢ではありません。より上級者向けの学会発表や英文論文執筆の方法に関しては、拙著『学会発表・医学英語論文執筆のトリセツ』に詳しく書いてありますので、よろしければ参考にして下さい。

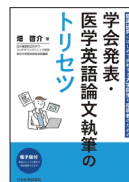
学会発表をするのであれば、症例を選択する段階から文献検索をしっかり行い、考察まで含めて、学会抄録を作成すべきだという厳しい意見もあります。確かにそのようにできれば理想的ですが、実際には上級医から発表する症例も学会も指定された状態で、かなり短い時間で抄録を作成しなくてはいけないシチュエーションのほうが多いかもしれません。

そこで、本稿では、抄録作成⇒文献検索⇒学会発表という現実的なシチュエーションにおける順番で説明したあとに、さらにやる気のある研修医・専攻医や指導医の先生向けに、症例選択や英文論文執筆の方法に関しても触れていきます。

Image of the Month

多くの月刊の医学雑誌に「今月の画像」として、印象的な画像を紹介するコーナーがあります。雑誌によって多少名前が異なっていて、たとえばNEJMではImages in Clinical Medicineがそれに相当します。

関連書籍



学会発表・医学英語論文執筆のトリセツ：畑啓介著、A5判、240頁。先輩に言われて致し方なく学会発表することになった人、博士号取得のために英語論文執筆が必要

な人、論文を書いてみたい・書かなければいけないけれどなるべくタイパ・コスパよく書きたい人、いずれかにほんの少しでも当てはまる方に、ぜひ手に取って頂きたい1冊。



2 学会で症例報告をするように指導医から言われたら

研修医 困ったな。先輩から今度の学会支部会に、症例報告を演題として出すように言われてしまって……。

専攻医 えー、いいな。私は研修医のとき1回発表したきりで、学会発表や英文論文執筆をできる症例を探しているところだから、うらやましいな。どうして困っているの？

研修医 学会の登録演題数がまだ少ないから、ウチの施設からもう1題演題を出してほしいと言われたらしく、抄録締め切り日までの期限があと4週間しかないんです。

指導医 そういう大人の事情もときどきあるんだよね（苦笑）。でも、研修医や専攻医の先生の発表の場があるのはありがたいこと。手伝うのでなんとか4週間で抄録を完成させてみよう。

「今度、〇〇学会の支部会があるから、この前のめずらしい症例を学会発表してみない？」と指導医から言われたら、最初のタスクは発表内容を抄録として簡潔にまとめることです。過去の同じ学会の抄録を参考にしながら、症例を簡単にまとめます。ポイントは以下の3つです。

はじめの3歩

- ✓ 抄録の締め切り日と文字数の確認
- ✓ 現病歴を個人情報に注意して記載
- ✓ 著者情報などの演題情報を仮登録

1 抄録の締め切り日と文字数の確認

まずは落ちついて、学会のウェブサイトや学会誌などを見て、抄録の文字数・締め切り日を調べます。たとえば第121回日本消化器内視鏡学会関東支部例会の演題募集では演題名60文字、抄録500字となっていました。発表の指示を受けてから抄録の締め切り日まで、あまり時間がないことも多いでしょう。1カ月ほどは余裕がないと初めての症例報告は難しいかもしれませんが、締め切り日は延長されないと考えて、可能な範囲で完成させていくことになります。なお、日本消化器内視鏡学会では関東だけではなく地域ごとに支部例会を開催していますので、確認してみてください。

2 現病歴を個人情報に注意して記載

症例報告の場合、抄録の大半は症例のまとめなのでそれほど心配しなくても大丈夫です。初めて抄録を作成する研修医の先生であれば、迷わず【症例】から書きはじめるとよいでしょう。そして、症例の出だしは年齢と性別です。まずはMicrosoft Wordを開いて「症例は70歳代・女性」と打ってみましょう。最近は個人情報への配慮から、実年齢がよほど重要でなければ、このようにぼやかして記載するケースが多くなっています。そして、入院日や治療日なども、時系列が必要な場合だけ個人が特定できない程度にぼやかした形で記載します。

最後は「～という稀な症例を経験したので、文献的考察を加えて報告する」と、まずは記載しておきます。実際、日本消化器内視鏡学会関東支部例会の抄録を見てもこのパターンが散見されます。本当はしっかりと考察まで

抄録に記載できるのが理想的ですが、締め切り日までの期間が短い場合も多いので、現実的にはそのようなパターンで提出せざるをえないことも多々あります。短い時間で無理に考察を記載して、その後の文献検索で、実はまったく見当違いな考察を書いてしまっていたということもあるので、このあたりは時間とのバランスを見て、どの程度まで完璧な抄録を作成するかを決めます。ちなみに日本内科学会の関東地方会では、考察までしっかり記載するように明記されていて、このあたりはかなり厳しいです。

3 著者情報などの演題情報を仮登録

演題登録の際に、共著者の学会会員番号やメールアドレスが必要になることもあります。抄録が完成する前に、早めに抄録以外の登録項目を含めて一度確認の上、仮登録をしておくことをお勧めします。あとから変更は可能なので、抄録部分には極端な話、「症例は70歳代・女性」とだけ記載して、仮登録してもよいでしょう。抄録ができてから一気にすべての項目を登録しようとすると、必要な情報を共著者に聞くのが直前となり、あわてることになりかねません。早めに一度、登録内容を確認しておきましょう。老婆心ながら、登録したパスワードを忘れないように！



なお、これから症例選択をする専攻医や指導医の先生向けに、症例選択の方法を第8章に記載したので、参考にして下さい。

共著者の名前のスペルチェック

共著者の名前のスペルに関して表記方法が複数あることがあるので、英文論文にする際には、どの表記にするのか、本人への確認が必要です。Otani, Ohtani, Ootaniなどが1例です。

3 抄録を作成しよう！

研修医 症例提示から書くといいと言われたけれど、なかなか進まなくて……。

専攻医 症例提示もタイトルも型みたいなのがあって、たとえばタイトルなら「～の1例」というものが多いから、過去の抄録を見ても参考になるわよ。

指導医 そうだね。それではタイトルの決め方から順番に見ていこう！

1 タイトルの決め方

症例報告の場合は、タイトルに入れる項目は大体決まっています。まず、疾患名が何よりもタイトルに入れるべき項目であることは、想像にかたくないでしょう。そして、2つの疾患の合併例の場合には、2つの疾患名を含めることになります。また、鑑別診断がメインとなる症例報告の場合に

2 発表本番

次演者席が発表場所のすぐ近くに設けられていることも多いので、その近くで待機します。スクリーンに向かって左前が演者、右前が座長というパターンが多いですが、逆の場合もあります。演台のすぐ近くに次演者席、座長席のすぐ近くに次座長席が用意されていることが多いです。

発表内容は自分で準備をしたものなので、十分にリハーサルをしておけば、あとは練習通りに発表するのみです。とはいえ、発表は緊張するものです。発表開始時にスライドがちゃんとスクリーンに表示されているかを確認して、大きく深呼吸をしてから発表にのぞみましょう。

緊張すると早口になることが多いので、はつきりと少しゆっくり話すつもりでプレゼンテーションを始めるとよいでしょう。

3 質疑応答

質疑応答は準備をしていた質問が来ればよいのですが、必ずしもそうとは限りません。多くの場合、質問者は意地悪ではなく、教育的な観点や純粋な興味から質問をしているはずです。精神的プレッシャーを感じて、「四面楚歌」と自己暗示をかけてしまわないようにしましょう。正しい答えでなくても、意見を述べる練習と思って行えばよいのです。間違ってもよいので、堂々と自分の考えを答えるようにしましょう。質疑応答の時間は長く感じられるかもしれませんが、せいぜい数分間で、時間が来れば必ず終わりますので、安心してのぞみましょう。

8 症例の選択方法と消化器内視鏡関連学会の紹介

研修医 今度は先輩の番ですね！ どんな症例でどの学会に出すんですか？

専攻医 症例は決まっていないけれど、やはり権威のある JDDW * みたいな大きな学会で発表したいな！

指導医 ははは、夢が大きくていいね。でも JDDW のような大きな学会は、大発見となるような症例報告でないと採択される確率は低そうだね。

研修医 症例も発表する学会も決めて頂いていたのは、実は楽だったんですね。

専攻医 さすがに大発見と言えるような症例は、経験した覚えがないしな……。

指導医 ほかの医師にとっても、同じような症例に出会ったときに役立つような内容であれば、学会発表だけではなく英文論文文化ができる可能性もあるよ。消化器内視鏡関連の症例報告の具体例を見てみよう。

*：日本消化器関連学会機構

1 症例報告に値する症例

症例報告に値する症例かどうかは、同じような症例に出会ったときに役立つようなメッセージがあるかどうかに尽きます。もちろん、あまりにもありふれている症例の場合には、英文論文文化は難しいでしょう。

英文報告のタイトルから見る症例報告の対象例に関しては、拙書『学会発表・医学英語論文執筆のトリセツ』の中でも取り上げていますので、参考にしてみてください。

消化器内視鏡関連で多いパターンとしては、以下の場合が考えられます。

①内視鏡の所見が他の疾患と似ているが、最終的に別の診断と判明した症例

②他の合併疾患や解剖学的特性などから内視鏡手技に注意が必要な症例

①は、いわゆる mimicker と言われるものが多いと考えられます。病理所見や手術所見で最終診断がついたものの、内視鏡時から疑うことができるポイントなどのメッセージを伝えることができれば、英文論文文化のチャンスがあります。

②は、たとえば、虫垂や憩室に近い部位の腫瘍に対する内視鏡治療のコツや、上腹部手術後の内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (endoscopic retrograde cholangiopancreatography: ERCP) のコツなどは、同様の症例に出会った人に役立つ内容となることがわかつています。

2 学会発表先

以下に3つほど、症例報告を受け入れている学会を紹介しておきましょう。

①日本消化器内視鏡学会関東支部例会

日本消化器内視鏡学会の支部会で、専門医更新単位の取得もできる。

研修医・専攻医セッションがあり、優れた演題には表彰がある。

初期研修医の参加費は1000円と割引価格となっている。

年2回の開催。各地域の集談会も開催されているので確認してみよう。

②日本消化器病学会関東支部例会

日本消化器病学会の支部会で、専門医更新単位の取得もできる。

研修医・専攻医セッションが用意されている。

参加費が2000円(研修医は卒後2年まで無料)と格安な点も魅力の1つで

タイトルから見る症例報告の対象

①稀な症例、②鑑別診断、③巨大病変、④多発病変・再発病変、⑤重症例・治療成功例・めずらしい有害事象、⑥長期経過・遅発例。

(畑 啓介：学会発表・医学英語論文執筆のトリセツ。日本医事新報社、2024、p28-30より引用)



Link

日本消化器内視鏡学会関東支部例会 (ウェブサイト)。



Link

日本消化器病学会関東支部例会 (ウェブサイト)。

